

ホクレンディスタンスチャレンジ2020 士別大会 テクニカルミーティング

ご参加いただきありがとうございます。

15時00分より開始いたします。

マイクとカメラをオフにしてお待ち下さい。

ホクレンディスタンスチャレンジ2020 士別大会 テクニカルミーティング

実施日時

2020年7月3日(金) 15:00～

議題

1. 挨拶
2. 新型コロナウイルス感染症緊急時対策
3. 大会までの対応事項
4. 競技会場のゾーン分け
5. 受付～大会終了後までの対応事項
6. 質問に対する回答

ホクレンディスタンスチャレンジ2020 士別大会 テクニカルミーティング

議題

1. 挨拶
2. 新型コロナウイルス感染症緊急時対策
3. 大会までの対応事項
4. 競技会場のゾーン分け
5. 受付～大会終了後までの対応事項
6. 質問に対する回答

ホクレンディスタンスチャレンジ2020 士別大会 テクニカルミーティング

議題

1. 挨拶
2. **新型コロナウイルス感染症緊急時対策**
3. 大会までの対応事項
4. 競技会場のゾーン分け
5. 受付～大会終了後までの対応事項
6. 質問に対する回答

新型コロナウイルス感染症緊急時対策

新型コロナウイルス感染対策本部

- ⇒シリーズ全体対策責任者:河野 匡(日本陸上競技連盟 強化委員会 長距離マラソンディレクター)
- ⇒土別大会対策責任者:三上 正洋(土別市実行委員会事務局長 土別市教育委員会 生涯学習部合宿の里統括監)
- ⇒主催者:橋本 秀樹(北海道陸上競技協会 専務理事)
- ⇒日本陸連事務局:平野 了(日本陸上競技連盟 強化部強化育成課 課長)

感染症緊急時の対応

- ⇒拡大防止の観点から、拡大の可能性が少しでもある場合は対策本部の判断により、即**中止**とする
- ⇒開催の是非は、北海道および上川管内での感染者状況を判断材料とする
- ⇒競技者及び関係者には大会終了後2週間(7/18迄)の感染状況の確認期間を義務付ける
- ⇒感染状況の確認期間内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、本人またはチーム責任者が**大会対策本部連絡窓口** (dc2020@jaaf.or.jp)に速やかに連絡することを義務づける

医療体制の準備

- ⇒仮設医務室としてテントを準備し、医療従事者が常駐する
- ⇒医療用個人防護服(フェイスシールド、ゴーグル、手袋、マスク、白衣など)を準備する
- ⇒仮設医務室とは別に、隔離用テントを準備し、感染が疑われる者が出た場合は、速やかに隔離して保健所に指示を仰ぐ

ホクレンディスタンスチャレンジ2020 士別大会 テクニカルミーティング

議題

1. 挨拶
2. 新型コロナウイルス感染症緊急時対策
3. 大会までの対応事項
4. 競技会場のゾーン分け
5. 受付～大会終了後までの対応事項
6. 質問に対する回答

大会までの対応事項

体調チェック表の提出

7月3日(金)11時00分までに dc2020med@jaaf.or.jp にチームごと又は個人で提出

※未提出のチームは至急ご提出ください。

※未提出の場合は出場及び会場への入場はできません。

質問フォームの提出期限

7月3日(金)12時00分まで、質問があれば回答フォームにて提出

<https://forms.gle/Z3zDpmHdiVA64CMM8>

⇒事前に頂いた内容は、テクニカルミーティング内で回答いたします。

ホクレンディスタンスチャレンジ2020 士別大会 テクニカルミーティング

議題

1. 挨拶
2. 新型コロナウイルス感染症緊急時対策
3. 大会までの対応事項
4. 競技会場のゾーン分け
5. 受付～大会終了後までの対応事項
6. 質問に対する回答

競技会場ゾーンイメージ①



競技会場ゾーンイメージ②



ホクレンディスタンスチャレンジ2020 士別大会 テクニカルミーティング

議題

1. 挨拶
2. 新型コロナウイルス感染症緊急時対策
3. 大会までの対応事項
4. 競技会場のゾーン分け
5. 受付～大会終了後までの対応事項
6. 質問に対する回答

大会当日、来場から競技者受付まで

ホクレンディスタンスチャレンジ2020 運営ガイドラインが大会運営の基本となります。必ずご一読ください。

⇒大会当日に発熱、またはチェック表に該当する症状がある場合は、出場を回避すること。

※合わせて対策本部連絡窓口(dc2020@jaaf.or.jp)へ欠場の連絡をする

⇒大会当日シャトルバスは準備しない。

⇒競技者・関係者入口は、100mスタート奥とする。(競技会場ゾーンイメージ②参照) 

⇒競技者入口でチーム代表者1名による参加賞・ナンバーカード・ADカード受け取りを行う。

⇒ADカードは参加人数が3名以内のチームには2枚、4名以上のチームには3枚配布する。

※ADカードのない者の競技場入場は認めない。

※ADカードは全大会共通で使用する。複数大会出場する選手、チームは各自保管すること。

⇒入口では手指消毒を行い、検温および体調チェックシート項目に該当しないことを確認する。

⇒受付の際は並べられているマークの通り、ソーシャルディスタンスを確保して並ぶこと。 

待機、W-upから招集・スタート、レース中

⇒ソーシャルディスタンスに留意して、競技者・関係者ゾーン(フィニッシュ～バック～100mスタート)の中で待機

⇒競技者はW-upおよび競技中、C-down時以外、関係者は常時、会場内でのマスク着用を義務付ける

⇒W-upはサブトラック、ぶどう球場および公園内を使用できる

⇒競技者と関係者は陸上競技場100mスタート奥とテニスコート管理棟および仮設トイレがのみ使用できる

管理棟更衣室の使用はできない 更衣用仮設テントを準備するが、使用可能人数等の遵守すること。

⇒スタート地点の待機テントはスタート5分前まで入場禁止

入場後もソーシャルディスタンスに十分留意する

⇒スタート地点の待機テント前にテーブルを設置し、腰ナンバーカードを各自ピックアップする

⇒スタート前の衣服は、チーム関係者がスタート後回収し、テント内に放置しない

⇒個人参加の選手は、テント内に準備されたビニール袋に衣服を入れてその場に置く。

フィニッシュ後速やかに自身で回収する

⇒スタートライン整列を唯一の召集作業とするので、各自スタート時間の確認を徹底すること

⇒男女10000mでは給水を準備する。

男女5000mは、天候状況に応じ、必要な場合のみ給水を準備する

競技会場ゾーンイメージ②



競技会場ゾーンイメージ①



競技会場ゾーンイメージ①



フィニッシュ後・インタビュー・メディア対応

- ⇒フィニッシュ付近に留まらず、速やかにチーム待機所へ移動する⇒フィニッシュ後にテントは設置しない
- ⇒できるだけ早く手洗い、洗顔を励行する
- ⇒自分のレースが終わったら、観戦はせず宿舎に戻ることに。

優勝者インタビューおよびメディア対応

・各レース1着選手(外国人が1着の場合は日本人**1着**選手と2名で)はグランドレベルに設置するライブ配信用カメラ前に一言コメント(ファンへのメッセージおよび、開催自治体への感謝の言葉など)をお願いします。

⇒メディアからの取材リクエストのない選手はこれで終了、エリアに沿ってチームの居場所へ移動してください。

- ・取材リクエストのあった選手は、付近に設置する取材エリアへ移動し、テレビ撮影(代表してNHKが実施)および撮影終了後、そのままPCを前にイヤフォンを用いてオンライン取材をお願いいたします(イヤフォンは随時消毒)
※インターネットの状況により、取材方法を変更させていただく場合がございます。

⇒メディア対応終了、エリアに沿って退場

*取材リクエストのある選手は事前に**団体申込**で登録した**連絡先に取材引き受け可否**を日本陸連広報よりお伺いします。

※当日に急遽取材対応を依頼させていただく場合がございます。インタビューを控えたい場合は、その際にお知らせください。

*ライブ配信用コメントおよびメディア取材対応には日本陸連担当者がアテンドいたします。

競技会場ゾーンイメージ②



大会終了後

⇒ごみは各自自己責任で持ち帰ることとする

⇒大会終了後から2週間(7/18迄)は感染状況確認期間とし、期間内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、本人またはチーム責任者が大会対策本部
(dc2020@jaaf.or.jp)に速やかに連絡することを義務づける

ホクレンディスタンスチャレンジ2020 士別大会 テクニカルミーティング

議題

1. 挨拶
2. 新型コロナウイルス感染症緊急時対策
3. 大会までの対応事項
4. 競技会場のゾーン分け
5. 受付～大会終了後までの対応事項
6. 質問に対する回答